オオブタクサとアレチウリ

の国土が指定されている。ため、堆肥をほ場に散布する場合は十分に完熟した堆肥を使用する。

【警戒すべき難防除雑草】

現在、問題となっている雑草の中で、特に警戒すべき難防除雑草を以下に示す。

オオブタクサ＝生育が非常に早く、大型で高さ3～6mになる。全国各地で分布が確認されており、ごく少数の地域の大豆作で問題となっている。東海地方以南の多くの地域の大豆作で問題となっており、関東地方以北への広がりを警戒する必要がある。一つの液果に約二百粒の種子が入っている。花期は7月下旬以降である。近縁種としてホソバフウリンホオズキやセンナリホオズキがあり、こちらも問題雑草である。

アサガオ類＝つる性雑草で、関東地方以南の多くの地域の大豆作で問題となっており、関東地方以北への広がりを警戒する必要がある。一つの液果に約二百粒の種子が入っている。花期は7月下旬以降である。近縁種としてホソバフウリンホオズキやセンナリホオズキがあり、こちらも問題雑草である。

ついで大豆の生育期に全面散布できる一年生広葉雑草に効果のある茎葉処理型除草剤により難防除雑草を省力的に防除する。2022年12月現在、3剤（パワーガイザー液剤、アタックショット乳剤、大豆バサグラン液剤）が農薬登録されている。これら3剤の全面散布での使用回数はそれぞれ1回である。アタックショット乳剤と大豆バサグラン液剤とでは、効果が高い雑草種が異なるので、特徴をよく理解して使用する。アタックショット乳剤はヒロハフウリンホオズキなどのホオズキ類やホソアオゲイトウなどのヒユ類などに対して効果が高く、本剤と大豆バサグラン液剤を体系で使用する。アタックショット乳剤は、効果が高い雑草の生育期の散布時期を撹乱するレーキ式やの除草機の処理では大からないよければならの処理は雑ければ、散効果が高い除草も有効

麻場　大豆の除草に大活躍

乗用管理機用「大豆Zバー」

大豆畑の畝間に生える雑草へピンポイントに薬剤散布できると重宝されているのが麻場＝麻場正紀社長、長野県長野市北長池1443－2＝の乗用管理機専用畝間除草剤散布機「大豆Zバー」だ。新設計のソリ型バーが地面に設置してノズルが左右にブレず散布位置を一定に保ち、手強い雑草だけを確実に退治する。

乗用管理機のフロント部の角パイプへ挟み込んで固定して使用。各メーカーや規格に合わせて設計しているので大概の乗用管理機に装着できる。肝であるノズルは新設計の発泡ノズル「Zノズル」。重複や散布ムラを防止するほか、大粒で噴霧するので飛散しにくく抜群の除草効果を発揮する。ノズル角度も大豆の葉下で左右45度まで調節できるので大豆の本葉に掛かり難く株元から畦間までしっかり散布。また、ソリ型バーには根元にスプリングを付けているので、段差や畦による噴管への負担を最小限に抑える構造になっている。

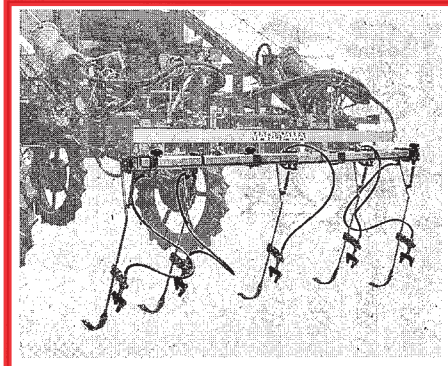
大豆Zバーは、非選択性茎葉処理除草剤「ザクサ」（三井化学クロップ&ライフソリューション）で試験を行い良好な結果を得たことから、北海道内各地のほ場で実演活動などを実施。畝間除草の省力化とスピードアップが実現できることから大豆やビート農家からも実績を拡大中だ。

条件に合わせて①取り回しが楽なコンパクトサイズの3畦用②作業能率アップに貢献する5畦用③畝間に合わせて伸縮自在な5畦用（伸縮タイプ）の3種類をラインアップ。5畦伸縮タイプは畝間に合わせ長さ調節できるほか、「格納や移動の際にコンパクトになるので便利」と好評を得ている。

【3畦用】▽全長：195cm▽使用ノズル：Zノズル動力用（毎分1ℓ2頭口）▽ピッチ：70～85cm▽吐出量：毎分6ℓ（1.0MPa使用時）▽噴霧角度：100～200度。

【5畦用】▽同：290cm▽同：Zノズル動力用（毎分1ℓ2頭口）▽同：60～70cm▽同：毎分10ℓ（1.0MPa使用時）▽同：100～200度。

【5畦用伸縮タイプ】▽全長：215～300cm。その他5畦用と同じ。



ノズルが左右にブレず雑草へ確実に散布

迅速簡単に暗渠敷設

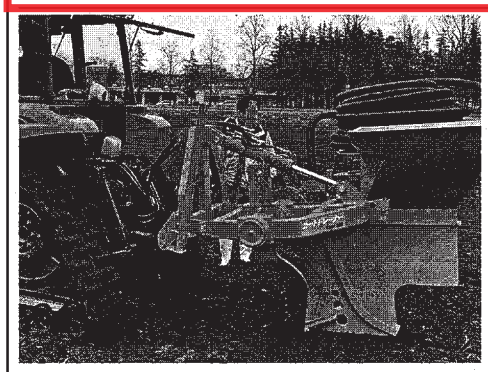
農研機構と北海コーキ「カットドレーナー」

農研機構は北海コーキと共同で「カットドレーナー」を開発、このほど本格的に販売を開始した。

カットドレーナーはトラクタなどによってけん引することで暗渠管とモミガラなどの疎水材を敷設・配置して暗渠を整備できるもの。はじめにV字刃が土塊を切断し下端の幅が10cm、上端の幅が最大60cmのV字状の溝を形成する。次に形成された溝の最下部に幅7cmの縦溝を形成し、内径5cmの暗渠管とその上にモミガラなどの疎水材を敷設・配置する。一連の作業は生産者自ら簡単に実できる。

カットド徴として、深さが最大するほ場にていてもそ未満であれ③従来の整して少ないできる④施0mあたり率的――なる。

なお、カ の技術的機構Webは北海コイトを参照



カットドレーナー